第8講　全国的武家政権の確立と衰退
PART4 室町時代の外交

Chapter 1　日明貿易

目標
日宋・日元貿易と日明貿易の違いについて知ろう。
室町幕府が冊封体制を受け入れたのはなぜだろう？

1　日元貿易と前期倭寇

①**日元貿易**（鎌倉後期～南北朝時代）

私貿易や僧の渡航は宋代と同様に盛んに行われたが，幕府による公的な派遣もあった。

A　鎌倉幕府による**建長寺船**の派遣

1325年，建長寺の再建費を得るために**14代執権北条高時**が派遣。

B　**足利尊氏・直義**による〔1　　　　〕の派遣

1342年，天龍寺を造営するために**夢窓疎石の勧め**により派遣。

②**前期**〔2　　　　〕（南北朝時代～日明貿易開始前後）

A　**日本人中心**の武装海賊集団

特に明の海禁政策による**私貿易の不調**から海賊行為に及ぶ場合が多かった。

B　**朝鮮半島沿岸・中国北部沿岸**で人間や米・大豆などを略奪。

C　対馬・壱岐・肥前松浦などが根拠地

D　明・高麗の倭寇禁圧要求

1369年以降，明は南朝の征西将軍懐良親王に対し禁圧を要求したが拒否された。

2　日明貿易と後期倭寇

①〔3　　　〕の成立（1368年）→同年に足利義満が3代将軍に就任

白蓮教徒による紅巾の乱を経て，**朱元璋〔太祖洪武帝〕**が漢民族の王朝を建国。

※中国中心の伝統的国際秩序の回復を目指し，私的な海外渡航や貿易を禁じる**海禁**政策を推進。

②**日明貿易〔勘合貿易〕**（15世紀～16世紀半ば）

A　背景

（室町幕府）貿易の利益＋国内権威の確立⇔倭寇の禁圧＋伝統的国際秩序の回復（明）

1401年　足利義満による遣使（正使は**祖阿**・副使は**博多商人肥富**）

1402 年　「日本国王源道義」として２代皇帝建文帝から大統暦を賜り**冊封**される

1403 年　「日本国王臣源」と名乗り再度遣使して勘合を入手

1404 年　貿易開始（３代皇帝永楽帝）

B　方法

〔 4 　　　　〕（明＝日字勘合，日本＝本字勘合）により，倭寇・私貿易船と区別。

C　形式

朝貢形式で遣明船を派遣。**寧波**の市舶司で査証，北京でさらに査証・交易。

※滞在費・運搬費などは明の負担＋無関税＝**日本側の利益は莫大**。

D　貿易品

輸出品→〔 5 　　〕・金・硫黄・刀剣・鎧・漆器・扇など

輸入品→〔 6 　　　　〕・**生糸**・絹織物・陶磁器・書籍・書画など（＝唐物）

E　経過

1404 年　幕府の直接経営で**貿易開始**

1411 年　**４代将軍義持**が朝貢形式を好まず**国交を中絶**

※倭寇の活動が活発化。

1432 年　**６代将軍義教**が**貿易再開**

※のち回数や隻数が減り，幕府は経営から離れ**抽分銭**を徴収。

1523 年　〔 7 　　　　　　　　〕（**○博多商人と結ぶ大内氏 vs 堺商人と結ぶ細川氏●**）

※以後は**博多商人と結ぶ大内氏が貿易を独占**。

1547 年　最後の遣明船派遣

1551 年　**大内氏の滅亡により貿易終結**

③**後期倭寇**（室町後期～安土桃山時代）

A　**中国人中心**の武装海賊集団

日本人と結ぶ中国人の密貿易者

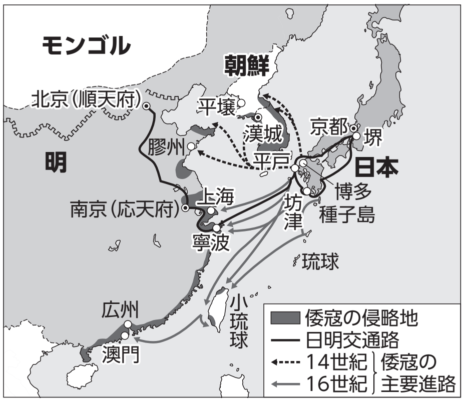
（王直など）やポルトガル人など。

B　**中国中部・南部沿岸や南海地域**で

銭貨や生糸などを略奪

C　肥前松浦などが根拠地

D　**豊臣秀吉の海賊〔倭寇〕取締令（1588 年）**まで続く



15 世紀頃の東アジア

まとめ

日明貿易は朝貢形式の公的な貿易で，中国に冊封されていた。

室町幕府は貿易の利益と権威を求め，中国皇帝に冊封された。

Chapter 2　日朝貿易

目標
日明貿易と日朝貿易の形式の違いについて知ろう。
対馬の宗氏が貿易を独占することになったのはなぜだろう？

1　高麗から朝鮮へ

倭寇の被害や国内対立・凶作により**高麗**が衰退，
倭寇討伐に功のあった〔1　　　　　　　〕が**朝鮮**（李朝・李氏朝鮮）を建国。（**1392 年**）
※通交と倭寇の禁止を日本に求め，足利義満が応じたので国交が開かれた。
※しかし，幕府による倭寇取り締まりの成果は上がらなかった。

2　日朝貿易

①**日朝貿易**の開始
14 世紀末，倭寇の捕虜送還を契機に，対馬・五島列島・博多などを拠点とする
倭寇勢力（倭人）との間で貿易開始。のちほかにも広がった。
②形式
通信符を用い，当初から幕府だけでなく守護大名・国人・商人らにも幅広く許可。
対馬国の宗氏が日朝間を繋ぎ，莫大な利益を上げる。
※**三浦**（乃而浦・富山浦・塩浦）
と呼ぶ港で交易。
三浦と首都の漢城に**倭館**を設置。

当時の朝鮮半島

③貿易品

輸出品→銅・硫黄・刀剣・琉球貿易による南海の産物（蘇木・香木・胡椒）など

輸入品→木綿〔綿布〕・麻布・**大蔵経**〔一切経〕・朝鮮人参など

④経過

1419 年　〔2　　　　　　　　〕

※対馬国の守護大名宗貞茂の死後に倭寇の活動が活発になったため，
朝鮮が対馬を襲撃し貿易は中断。

※翌年朝鮮から宋希璟が来日するなどの後，1423 年に関係修復。
以後は宗氏が発行する
通行許可証「文引」を持つ者が朝鮮と貿易する体制が整った。

1443 年　癸亥約条〔嘉吉条約〕

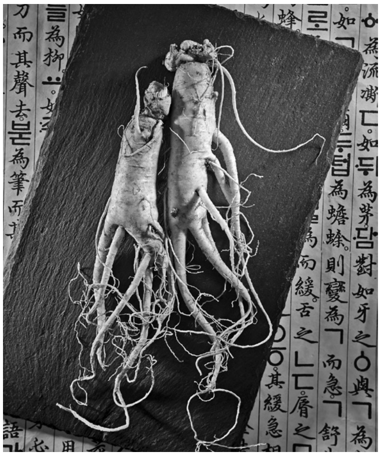
※対馬国の宗貞盛（貞茂の子）と朝鮮との間で，渡航船を年間 50 隻に制限。

1510 年　三浦の乱

※貿易の統制が進み，特権が縮小され不満を抱いた
三浦の恒居倭（日本人居留民）が暴動を起こし，貿易は中断。

1512 年　壬申約条

※貿易は再開するが衰え，宗氏だけが行うようになる。



朝鮮人参

まとめ　日明貿易は将軍による皇帝への朝貢形式だが，日朝貿易は自由だった。
日朝間で紛争があり，朝鮮が貿易制限を行い対馬の宗氏が残った。

第 8 講　PART 4　確認問題

1　鎌倉時代，建長寺船を派遣した執権はだれか。

①　北条基時	②　北条守時
③　北条師時	④　北条高時

2　1368 年，漢民族王朝の明を建国したのはだれか。

①　朱元璋	②　尚巴志
③　李成桂	④　李舜臣

3　日明貿易における日本の主な輸入品はどれか。

①　刀剣	②　金
③　銅	④　銅銭

4　1523 年，日明貿易の主導権をめぐって起こった，博多商人と結ぶ大内氏と堺商人と結ぶ細川氏の対立を何というか。

①　三浦の乱	②　応永の外寇
③　寧波の乱	④　享徳の乱

5　1392 年，朝鮮を建国したのはだれか。

①　李舜臣	②　李成桂
③　朱元璋	④　尚巴志

6 日朝貿易における日本の主な輸入品はどれか。

① 木綿　② 銅
③ 胡椒　④ 銅銭

7 1419年，朝鮮が襲撃したのはどこか。

① 壱岐　② 対馬
③ 蝦夷　④ 博多

8 1510年，日本人居留民が暴動を起こした事件を何というか。

① 享徳の乱　② 応永の外寇
③ 三浦の乱　④ 寧波の乱

第 8 講　PART 4　確認問題 解答

1 解答：④　14 代執権北条高時は，建長寺の再建費を得るために**建長寺船**を派遣した。

2 解答：①　**朱元璋**〔太祖洪武帝〕は，白蓮教徒による紅巾の乱を経て明を建国した。

3 解答：④　①の刀剣，②の金，③の銅はいずれも日本の輸出品である。日本は銅銭のほか，**生糸**や絹織物，陶磁器，書籍などを輸入した。

4 解答：③　**寧波の乱**以降は，博多商人と結ぶ大内氏が貿易を独占した。

5 解答：②　倭寇の被害や国内対立・凶作により**高麗**が衰退したことから，倭寇討伐に功のあった李成桂が朝鮮〔李朝・李氏朝鮮〕を建国した。

6 解答：①　日朝貿易において，日本は木綿〔綿布〕のほか麻布・**大蔵経**〔一切経〕・朝鮮人参などを輸入した。

7 解答：②　1419 年，朝鮮が対馬を襲撃した事件を**応永の外寇**という。これにより，日朝貿易は一時中断した。

8 解答：③　三浦の恒居倭人（日本人居留民）が暴動を起こした事件を**三浦の乱**という。これにより，日朝貿易は一時中断した。